

学校教育目標 「つながろう やりぬこう」
重点目標 「すすんで やる子」

学校から家庭・地域へ 充実した夏休みに

校長 望月 秀一

猛暑の日々が続いています。明日から34日間の夏休みが始まります。

7月3～5日の2泊3日で5年生はみどりの学校の宿泊行事に取り組みました。雨が降り、天候が不順でプログラムの変更がありましたが、吉永二小の子どもたちと一緒に楽しく充実した三日間を過ごすことができました。「つながろう やりぬこう 安全第一 時間厳守」のスローガンを意識して活動した子どもたちは、「こどもの国から少年自然の家まで、10 kmあって大変だったけれど歩いて良かった。」「時間を守って行動できた。」「いろいろなことが体験できて楽しかった。」など、充実した声が聞かれました。キャンプファイヤーでのスタンプは、神戸小ならではの元気一杯の楽しいもので、5年生らしさが溢れていました。雨天のため日程変更で行ったクラフト作りでは、班の仲間に協力してもらい、一層、創り上げた喜びがあったようです。最終日の退所式は飯盒炊飯の前に行われたため、児童代表の言葉も自ら内容を変更、工夫し、自信をもって話す姿にたくましさを感じました。あらゆる場面で仲間と楽しく、生き生きと活動する姿が見られ、一回り成長できた5年生でした。この頑張りを今後の学校生活に繋げてほしいと願っています。



13日は、早稲田大学の藤井千春先生、元校長の相場信彦先生を招聘しての校内研修を行いました。自分の言葉で説明しようと頑張る姿やある子の意見に対して周りの子たちが考え、繋げようとする姿が育っている等、子どもたちの学びの成長を見取っていただきました。一方で、自分の生活と結び付けて考えたり、自分事として捉えたりすることが大切なことや、自分が分かったことを仲間に分かりやすく説明する力を付けていくことが課題であるとのご示唆をいただき、今後の授業づくりに生かしていきたいと考えています。学ぶ楽しさを実感できる授業になるよう、私たちも努力していきます。

18日は、3・4年生が、「かがやく神戸っ子のまちに地名をつけようの会」を行いました。学級から選ばれた地名をそれぞれの学年で投票し合って学級代表を決めました。3年生の『空かぐや』は、今宮浅間神社がかぐや姫と関わりがあり、住んでいる人達が優しくなり、美しく輝きのあるまちになってほしいとの願いがあります。また、4年生の『遊然の里』は、もっと自然が豊かになり、子どもたちがたくさん遊べる、平和なまちになってほしいとの願いが込められています。どの子の考えた地名も、神戸地区の良さや夢を表現し、とても素敵な名前でした。どの地名にも子どもたちの思いが込められていて、私たちや保護者、地域、市役所の方々も感心していました。11月の地区文化祭にて、総選挙を行い決定するようです。次代の神戸地区を担う子どもたちが考えた地名を期待してください。



明日から夏休みが始まりますが、連日続く猛暑から熱中症が心配されます。水分・塩分補給はもちろんのこと、屋内・屋外での過ごし方に気を付けていただき、安全な夏休みであってほしいと願っています。夏休みだからできることにもチャレンジしてほしいと思います。

一回り成長した子どもたちと元気に再開できることを楽しみにしています。